



SMILE ASIA in Cambodia

Quality of Life and Happiness for Women and Children

～ 2021 年度の活動レポート ～

ACCU が現地カンボジアの NGO と連携して展開している SMILE プロジェクト。2021 年度も個人・法人の皆さまの温かいご支援のおかげをもちまして、無事事業を実施することができました。昨年度の学習者からのニーズに応えるため、現地 NGO と協議の上、2021 年度は新たにポストリテラシークラス(一定期間の基礎的な識字学習を終えたあと、識字能力の維持と向上のために継続して行われる識字教育クラス)を開講しました。活動内容をご報告します。

プロジェクトサイト

2021 年度の SMILE プロジェクトは、首都プノンペンから 65 km あまり離れたコンボンスプ州サムロントン郡センデイ地区の 5 つの村で開講されました。2013 年度に一度 SMILE が開講された地区ですが、前年度までに実施した旧学習者フォローアップ調査結果では、依然として識字課題が他の地域と比較して大きいという結果が出たことから、同地区で実施されることになりました。



学習者のみなさん

5 つの村合わせて計 75 名がポストリテラシークラスで学びました。SMILE の旧学習者だけでなく、読み書きに自信のない方、学校を中退した方、読み書き活動を通じて新たな知識を身につけたいと思う方々もクラスに参加しました。工場労働者、主婦、学校を中退した人など、様々な環境や立場の人々が定期的に集まり、読み書き学習を共に深める機会となりました。

ファシリテーター

SMILE では先生役を務めてくれる方を「ファシリテーター」と呼びます。昨年度開講のポストリテラシークラスでは、村長や関係者からのヒアリングに基づき、SMILE 識字クラスのファシリテーター経験者や幼稚園の職員など計 5 人(女性 4 人、男性 1 人)が選出されました。3 日間の事前研修には、教育省からポストリテラシーの専門家が講師として登壇し、参加者はファシリテーターの役割やポストリテラシークラスの運営、授業案や教材の作成方法について学びました。



ポストリテラシークラスの様子

クラスは基本的には土日の週2日間、1日あたり2時間です。開講時間は農場や工場で働く学習者のスケジュールに合わせて調整されました。クラスの始めにはファシリテーターによる出欠確認やクラスの雰囲気や和ませるためのお話がされ、その後学習者は教科書を使用しながら、難しい単語を書き出したり、教科書から何を読み取れるかなどについてファシリテーターからの質問に答えたりしました。クラスの後半では、生活スキルに関する本の読書時間が与えられ、一人で読むことが難しい学習者はファシリテーターのサポートを受けながら本を読みました。ポストリテラシークラスへの参加をきっかけに、自立的な読書習慣の定着が期待されています。



学習キットと教材

学習者1人につき、ペン2本、えんぴつ1本、定規1本、キャンドル1箱、ノートとバックが贈呈され、ファシリテーターには、クラスで使用するチョークやフリップチャートなどが配られました。

また、学習者のニーズや興味に合わせてファシリテーターが記事を作成して配布したり、農業や健康、料理、歴史、職業など様々なジャンルの本を取り揃えた読み物コーナーを設置したりするなど、識字環境の整備が図られました。



学習の成果

ポストリテラシークラスでの学習成果として、学習者75人のうち52人は一人で読み書き計算をこなせるレベルまで識字能力を高めることができました。また、学習の一環として生活スキルに関する本を多く読むことで、クラスで学んだことを家庭で役立てることができました。例えば、有機野菜の育て方や、堆肥の作り方、食べ物の栄養に気を使ったりなどのポジティブな行動変容につながりました。

村長さんからは、仕事や家庭で忙しく定期的にクラスに参加できなかった学習者や、コロナウイルスへの感染を恐れてクラスへの参加を躊躇していた学習者に対して、継続的な参加を促すことができたとの声が上がりました。その際、ファシリテーターと協力をしながら学習者の家をしばしば訪問して、より良い生活のために知識を得ることの重要性を伝えることが大切であったといいます。

地域の女性局の職員からは、短い期間であったけれども、忙しい日常の合間を縫って学習者が一生懸命に読み書き計算を学ぶ姿を見ることができてとても嬉しかったとの

感想がありました。また、ポストリテラシークラスは学習者が自主学習や生涯学習を継続するにあたりとても役立つとの意見がありました。



地元の行政関係者からは、ポストリテラシークラスが読み書き能力の向上につながっただけでなく、学習者同士が直接会い、情報を交換したり共有したりする場としても貢献したことが強調されました。



現場のみなさんの声

私は以前 SMILE 識字クラスの学習者でしたが、学習後数年経過したためアルファベットや文字の書き方を忘れてしまいました。当初は難しい単語などを読むのに苦戦していましたが、ファシリテーターの支援や家庭での自主学習の甲斐もあり、再び読み書き計算ができるようになりました。私は農業や料理、健康教育に関する本を読むのが好きで、子供が健康で強い体に育つよう栄養価の高いお粥をつくることなど学んだことを日常生活で役立てています。クラスは終わってしまいましたが、村の女性たちのために、このプロジェクトにご寄付、企画いただいた皆さんにとっても感謝しています。

クオム・サロムさん 30 歳
(学習者、1 児の母)



私は 3 日間のポストリテラシーの運営の研修を受け、授業の組み立て方を学びました。はじめはできるとは思っていませんでしたが、プロジェクトスタッフのサポートのもと、読書クラスで使用する 2 つのハンドブックを制作することができました。ポストリテラシークラスは、女性が仕事を見つけるのに役立ち、収入を得ることができ、さらには家庭内暴力から自分自身や周囲の人々を守ることに貢献します。このプロジェクトを私の村で実施して下さいありがとうございます。

イエン・メクさん 61 歳
(ファシリテーター、政府の識字クラス教師・幼稚園職員)

私はセンデイ地区の地区評議会のメンバーです。このプロジェクトは地区評議員長、5 つの村の村長、そしてファシリテーターが一生懸命に運営しています。プロジェクト期間は短かったですが、5 つの村の学習者たちが読み書き計算をできるようになるため、必死に学び直しをしている姿を見られてとても嬉しかったです。ご寄付いただいた皆様に感謝申し上げます。今後も私の地区でポストリテラシープロジェクトを続けていただけると嬉しいです。

チョルン・サロユンさん 43 歳
(ボランティア)



SMILE ASIAプロジェクトとは？

SMILEプロジェクトは、妊婦さんや小さな子どもを育てている女性を対象とした識字学習支援プロジェクトです。具体的には、読み書き計算や保健に関わる知識、ライフスキル学習の機会を提供することで、女性のエンパワーメントを促進し、更には家庭と地域の教育・保健環境をより良くしていくことを目指しています。カンボジアでは2008年に開始し、2017年までに55の村で1,220人以上の女性がSMILEに参加しました。



Supporting Maternal and Child Health Improvement and Building Literate Environment



“家族が変わり、地域が変わる。”

■ ACCUについて

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU：Asia-Pacific Centre for UNESCO）は、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の基本方針に沿って、アジア太平洋地域諸国における文化の進歩と相互理解に寄与することを目的に、1971年に設立されました。持続可能な未来を構築することを目標に、ユネスコとユネスコのパートナーであるアジア太平洋諸国のNGOと連携し、様々な地域で文化と教育の分野において先駆的な活動を行っています。

■ CWDAについて

カンボジア女性開発協会（CWDA：The Cambodian Women's Development Association）は、1993年に設立された非営利組織（NGO）です。教育や保健の分野を中心に、カンボジアの女性の自立を支援し能力向上に資する事業を広く展開しています。

読み書きの力で女性に笑顔を！

カンボジアのSMILEプロジェクトは個人と企業の皆さまからの寄付によって支えられています。アジア太平洋の女性を応援するためのご支援をお願いします。

郵便振替口座： 00120-7-365298

口座名義： ACCU アジアの女性識字振興募金

※ACCU は公益財団法人ですので、寄付金控除の対象となります。



 **ACCU**
Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター